



2年学年だより

発行日:令和7年1月 31 日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO. 9

JAXA 宮里さんに話を伺いました

校長代理 中澤 務

南高附属中では毎年、宇宙航空研究機構（JAXA）のご協力により、宇宙開発について学ぶ機会をつくっています。1月25日（土）2学年の“EGG”の時間で JAXA 広報部 宮里光憲（みやさとみつのり）さんにご講演をいただきました。宮里さんは1年前にもご講演でいらっしゃいましたが、そのときはちょうど月着陸実証機（SLIM）のミッションを行っている最中で、徹夜明けでおいでになられました。



今回講演をいただいた後で、中澤から改めてお話を伺いました。

中：お話をいただきありがとうございました。宮里さんは種子島ご出身とのことで、お家の近くに宇宙センターがあるわけですが、お仕事を選ぶうえでやはり影響があったのですか。

宮：特にあこがれとかはなかったですね。理系を目指すうちに、といったところでしょうか。

中：そうなんですか。それで JAXA に入れたらすごいですよね。

宮：学校を卒業後、JAXA の職員になったことで出身校からインタビューを受けている人もいますね。

中：宇宙開発に関わる貴重なお話をありがとうございました。休憩時間中にも宇宙食のサンプルを見せていただきました。生徒は興味津々で集まってきていましたね。ご講演のあとにも、生徒から質問がいくつもありました。一つひとつにお答えくださり感謝いたします。

宮：質疑応答の時間は楽しいです。一方的にお話しして反応がわからないときもありますから。興味をもって聞いてくれたことがわかり嬉しく思いました。

中：生徒から、「今宇宙にいる地球人は何人か？」との質問がありました。その答え（宇宙ステーションには現在9人の宇宙飛行士がいるが、宇宙ということであればおよそ80億人である）が宮里さんからのメッセージとして大事なもののかなと感じたのですが。

宮：そうですね。確かに視野を広くもってもらいたいというのはありますね。宇宙開発の仕事で管理職をしていたとき、部下の提案が一方からの考えからでしかないものがあつたんです。私は反対側からも意見をするようにしていました。もっと広い視野から仕事をしてほしいと。

中：宇宙は広いですね。ところで宮里さんは、宇宙には地球のほかにも似たような惑星や、生命が存在するとお考えですか。

宮：それは絶対ありますよ。だって宇宙には2千億個の恒星でできた銀河が2兆個あるんですよ。知的生命体もいると思います。私たちから離れすぎていて確認する手段が今はないけれど。

中：何ともスケールがでかすぎて気が遠くなりそうです…。

宮：宇宙開発はお金も時間もものすごくかかるけれど、誰かが夢を描いたら、それを受け継いだ世代が実現に向け努力することが大事だと思っています。飛行機が発明されたばかりのとき、飛行機に乗って旅行しようと誰が思ったのでしょうか。宇宙旅行も現実になる時代はすぐそこです。

中：なるほど。最後に、毎年お世話になっている、南高附属中の生徒にメッセージをお願いします。

宮：いろんな体験をして、そこから好きなことを見つけて努力して、進んでいってほしいと思います。

中：お話しいただきありがとうございました！



「JAXA 宇宙開発講座」を聴いて



宇宙飛行士が宇宙食を食べるときにメンタルや放射線、骨密度、免疫を考慮しながら考えていて感心しました。16日周期で違うものを食べられると聞いて、献立とかよく考えられているなと思いました。

1組 生徒

ロケットは打ち上げられたまま宇宙に行くわけではなく、人の乗っている部分だけを残して切り離されることを知り、驚きました。宇宙ステーションの中は無重力なので運動も大変なのを知りました。

1組 生徒

宇宙では太陽に当たるところと当たらないところで300℃近く温度が変わるのに、その温度差や放射線から宇宙飛行士を守る宇宙服の技術におどろいた。また宇宙飛行士の選別では、閉鎖環境適応試験など他では聞いたことがないものがあるって、それを乗り越えて宇宙飛行士になった人の意志の強さがすごいと思った。テレビで見たことのある白色のジグソーパズルの試験は本当にあるのかが気になった。

2組 生徒

講演を聴いて驚いたことは、国際宇宙ステーションが2030年に運用が終了することです。国際宇宙ステーションは、宇宙空間の環境の研究に貢献した施設なのに、それが運用終了するのが不思議でなりません。次にどのようなことで宇宙の研究をしていくのでしょうか。また、「氷があれば水ができる。水があれば電気、水素や酸素ができる」と言われたことが印象に残りました。それさえあれば、人の住める環境になるからです。「どうやって月や火星に水を持って行くか」について疑問をもつきっかけになりました。

2組 生徒

宇宙開発について、ほとんど知らなかったのので、上空100kmに宇宙ステーションがあることを初めて知りました。宇宙開発は年単位で計画されていて、じっくり進んでいるものだと知りました。今後、宇宙開発など宇宙に関連する仕事に就きたいと思ったときに、とても参考になる話になりました。未来に「宇宙に行くことが趣味です」という自己紹介を言ったり聞けたりしたら楽しいなあ、と思いました。

3組 生徒

宇宙には様々な可能性があるんだなと思いました。自分は宇宙についてほとんど無知な状態です。今回の講演を受けて宇宙飛行士という仕事に興味をもつことができました。宇宙飛行士は肉体的にも精神的にも辛く、いろいろな努力をしなければいけない仕事なので、とても尊敬できると思いました。

3組 生徒

私たちの生活は宇宙と関係があって驚いた。去年あったパリオリンピックがテレビで見られたのは通信・放送衛星のおかげだったり、天気を知るのも気象衛星のおかげだと分かり、宇宙を身近に感じる事ができた。宇宙飛行士になるにはたくさんの努力が必要だと分かった。試験や訓練があるのは知っていたが、水の中や森の中でサバイバルをするなど、私が想像できないくらい過酷な訓練があると知りとても驚いた。

4組 生徒

講演を聴いて、宇宙旅行が思っていたよりずっと身近なものになっているのだと知り、とても驚いた。また宇宙で過ごすことが、ケガや病気をわずらっている人の治療にもつながるという話を聞いて、とても勉強になった。宇宙開発技術を戦争などに使用してほしくないと思う。

4組 生徒

新年を迎えて・・・



校内書初め展

金賞 1組 生徒1名 4組 生徒1名
 銀賞 1組 生徒4名
 2組 生徒3名
 3組 生徒3名
 4組 生徒3名



2学年百人一首大会

1月21日に2年生は百人一首大会を行いました。

優勝 4組
 個人賞 1位 1名 69枚 2位 1名 65枚 3位 同数2名 60枚
 5位 1名 56枚 6位 1名 55枚
 7位 1名 55枚 8位 同数2名 54枚

体育祭準備!着々と!!

副校長 本江聡美



3月12日(水)に行われる体育祭に向けて、1月21日(火)の7校時に中高合同練習会が行われました。中1から高2までの生徒がアリーナに集まり、高校生から全学年合同色別種目「大玉送り」のルール説明、そして実演!中3の応援団長・副団長が、ランニングロードを大玉をもって駆け下り、生徒のみなさんの頭上へ。頭の上の大きなボールをゴールへ送っていました。当日の大玉はなんと180cm!?体育祭最終種目、盛り上がり間違いなしです!

大玉送りの練習のあとは、色別種目に分かれてのルール説明。綱引き、リレー、玉入れ、跳びつき綱引き、借り人競走、キャタビラ、サバイバルという色別種目があります。他にも学年種目も予定されています。中高合同の体育祭は久しぶりですが、生徒が主体となって様々な企画が進められています。先輩の姿からたくさんのことを学べるようにしたいですね。